



## 特別講演

### 郷土の伝統芸能

# 火ふく大浦の蛇

講師

のりたけ

則竹

みさお

節先生

日時

平成 29 年 7 月 1 日 (土)

午前 10 時～11 時 30 分 (予定)

場所

正木コミュニティセンター

1 階ホール

参加費

無料

主催

正木町自治委員会

正木コミュニティセンター

正木町の皆さん、「大浦の蛇」をご存じでしょうか。

「大浦の蛇」は大浦新田と上大浦に伝わっています。雄、雌二頭があり、雄は大浦新田区に、雌は上大浦区に、それぞれの保存会によって大切に守り伝えられています。

「大浦の蛇」はもともと雨ごいや豊作祈願に使われてきました。笛、太鼓、鐘で「大浦の蛇火ふく蛇」とはやし立て、昼は田んぼ道を這う蛇の姿で、夜は木曽川堤で空に火を吹く龍の姿で、練り歩く行事でした。

近年は、記念行事や祭りなどに出動しています。今年も又、夏祭りの夜に出演を予定しています。

- ・こんな貴重な伝統芸能が正木町にあることを紹介します。
- ・どのようにして伝えられてきたか、その歴史をお話します。
- ・文化財として守られ、後世に伝えられることを念願しています。